

第47回網走開発建設部入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成27年3月5日(木) 網走開発建設部 第1会議室
委員	菊地 均 (北海商科大学教授) 中原 章博 (税理士) 三上 修一 (北見工業大学教授) 長澤 真史 (東京農業大学教授) ※八峠委員は欠席 <p align="right">(五十音順)</p>
審議対象期間	平成26年7月1日～平成26年9月30日
委員からの意見・質問、それに対する回答	
意見・質問	回答
<p>【一般競争】 網走川・常呂川維持工事の内 河川管理施設補修外工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札辞退の理由は何か。増加傾向にあるか。 <p>【一般競争】 北海道横断自動車道 遠軽町 瀬戸瀬東改良工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術評価について、災害活動の実態で「国の機関との協定あり」とあるが、どういう機関と協定を結んでいるのか。また、具体的な災害活動にはどのようなものがあるのか。 ・新設の改良工事ではどのように工区を決めているのか。 <p>【一般競争】 旭川紋別自動車道 遠軽町 丸武川橋上部工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者が4者と少ないが、どういう理由が考えられるか。 ・この工法を採用した理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他工事と技術者を重複して入札に参加し、他工事が落札したことにより、この工事の入札を辞退したということが考えられる。通常あることで、増加しているという傾向はない。 <ul style="list-style-type: none"> ・国の機関であればどこでもよいが、この場合は、開発局と北海道建設業協会とで災害協定を締結したものである。災害活動としては例えば、暴風雪時に国道で吹きだまりができ、人的被害を回避するために、事務所長が協定業者に除雪の出動要請をかけること等がある。 ・現道からの工事用道路の配置や切盛土の施工方法等、現場条件を考慮して決めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・通常、当部の鋼橋上部工事では7者から9者程度の参加者がいるが、この橋がトラス形式のもので、架設方法も特殊なことから、参加者が少なかったと思われる。 ・現地の架設地点の状況により、仮設備も含め

<p>【一般競争】 元稲府漁港 - 3. 5 m岸壁工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これも入札参加者が3者と少ないが、道内でこの種の工事を施工できる業者はどのくらいいるのか。 ・落札業者は過去にも同工事で実績があったが、そのことが今回の積算等で有位に働き、結果として入札参加者が少なかったと考えられないか。 <p>【一般競争】 兵村地区 第2幹線排水路工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業活用型ということだが、この方式の工事で管外の会社が参加している率はどのくらいか。 ・この方式を採用する工事の規模等決まったものはあるのか。 <p><建設コンサルタント業務等> 【簡易公募型プロポーザル】 湧別川分布型洪水予測外検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分布型洪水予測システムというものはある程度一般化されているのか。 <p><役務の提供等及び物品の製造等> 【一般競争】 網走開発建設部管内 危機管理行動計画資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この計画は数年毎に作成するものなのか。 	<p>た経済比較等総合的に検討し、この工法を採用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同種工事实績を有する社として、A等級が6社、B等級が33社いる。 ・過去の工事で現地を把握しているので、見積もりの精度で有位に働くかもしれない。また、工事現場が遠く、泊まりで技術者を配置しなければならないこと等から経費が嵩むため、敬遠されているのも一因と思われる。 当部の港湾漁港工事は例年、少ない参加者で推移している。 ・昨年度から試行しているが、現在まで管外業者の参加はない。 ・管外本店の業者も参加できる等級の工事の内、地元の一次下請業者を活用できる工種がある工事のなかから選定している。 ・一般化されている。当部でも昨年度に常呂川で行っている。 ・年次で定められた計画はなく、今回は本省からゲートの不具合時を想定した機械設備編についての指示があり作成したものである。今後、機械更新や現地状況の変化等に応じて随時見直しを行っていくこととなる。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	
なし	

抽出案件の入札・契約情報

【工事】

工事名	入札方式	工事区分	競争参加資格を確認した者の数※	入札者数	契約締結日	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
網走川・常呂川維持工事の内河川管理施設補修外工事	一般競争入札方式	維持	4	3	26.7.17	53,460	97.00%	
北海道横断自動車道遠軽町瀬戸瀬東改良工事	一般競争入札方式	一般土木	14	14	26.7.3	233,280	93.32%	
旭川紋別自動車道遠軽町丸武川橋上部工事	一般競争入札方式	鋼橋上布	3	2	26.8.4	407,700	88.65%	
元稲府漁港-3.5m岸壁工事	一般競争入札方式	一般土木	2	2	26.7.29	213,840	95.41%	
兵村地区第2幹線排水路工事	一般競争入札方式	一般土木	4	4	26.8.4	432,000	96.30%	

※ 競争参加資格を確認した者の数は一般競争の場合。工事希望型においては技術資料の提出を要請した者の数、工事希望型以外の指名競争においては指名業者数と読み替える。

【業務】

業務名	入札方式	業種区分	競争参加資格を確認した者の数※1	入札者数※2	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
湧別川分布型洪水予測外検討業務	簡易公募型プロポーザル方式	土木関係コンサルタント	3	1	26.8.6	(株)ドーコン	29,948	99.48%	

※1 競争参加資格を確認した者の数は一般競争の場合。公募型競争、簡易公募型競争及びプロポーザル方式においては手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数、通常指名競争においては指名業者数、参加者の有無を確認する公募手続を行った契約方式でプロポーザル方式へ移行したものにおいては応募要件を満たす参加意思確認書の提出者数と読み替える。

※2 入札者数は競争入札の場合。プロポーザル方式及び参加者の有無を確認する公募手続を行った契約方式でプロポーザル方式へ移行したものにおいては技術提案書の提出者数と読み替える。

【物品・役務】

業務名	入札方式	業務分類	競争参加資格を確認した者の数※1	入札者数※2	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
網走開発建設部管内危機管理行動計画資料作成	一般競争入札方式	役務	3	3	26.9.4	(株)北開水工コンサルト	10,260	80.37%	

※1 競争参加資格を確認した者の数は一般競争の場合。指名競争においては指名業者数、企画競争においては企画提案書の提出者数、参加者の有無を確認する公募手続を行った契約方式で企画競争へ移行したものにおいては応募要件を満たす参加意思確認書の提出者数と読み替える。

※2 入札者数は競争入札の場合。企画競争においては企画競争参加資格要件を満たす企画提案書の提出者数、参加者の有無を確認する公募手続を行った契約方式で企画競争方式へ移行したものにおいては企画提案書の提出者数と読み替える。